

2024年度 第2回学校評価のまとめ

校長 平井 正 朗

I 集計結果のまとめ

1月に実施した第2回学校評価の結果を公表します。回答数は、在籍328名中、生徒304名(92.7%)、保護者281名(91.5%)、教職員44名(100.0%)でした。

以下の数値(%)は、設問に対して「わからない・無回答」を除いて「(やや)あてはまる(=達成率)」と答えた割合を表します。2024年度の全体(第2回)の平均達成率は85.3%であり、内訳は生徒76.8%、保護者79.8%、教職員95.9%でした。

なお、学習指導要領の改訂、本校の事業計画等を参考に、質問事項については加筆・修正を加えています。(参考資料①参照)

高評価：90%以上、要精査：60~69%、要改善：60%未満

- 生徒
90%以上 → 1項目、80~89% → 9項目、70~79% → 15項目
60~69% → 5項目、60%未満 → 0項目
- 高評価：進路満足度 95.2%
- 要精査：私学の独自性(愛校心) 67.8% 設備・施設(施設管理) 69.0%
生徒指導(組織的対応) 64.0% 授業(きめ細やかな指導) 64.9%
授業(探究活動) 68.3%
- 要改善：なし

- 保護者
90%以上 → 3項目、80~89% → 13項目、70~79% → 10項目
60~69% → 5項目、60%未満 → 0項目
- 高評価：教育課程(教育計画) 90.9% 危機管理(パンデミック対策) 90.7%
その他(カウンセリング体制) 90.0%
- 要精査：進路指導(情報の活用) 68.3% 授業(質的向上) 68.0%
授業(きめ細やかな指導) 65.2% 授業(探究活動) 62.9%
SDGsと社会貢献 65.2%
- 要改善：なし

- 教職員
90%以上 → 38項目、80~89% → 2項目、70~79% → 0項目
60~69% → 0項目、60%未満 → 0項目
- 要精査：なし

II 成果

・「進路満足度 100%」の達成状況について、生徒（95.2%）及び保護者（93.2%）の評価は3年連続で90%以上となり、到達目標を達成しました。

・2024年度の第1回目（中間）と比較すると、生徒・保護者・教職員からの評価で「要改善」は皆無となりました。また、2022年度以降、第2回目（年度末）の生徒・保護者・教職員からの評価で「要改善」は皆無となっています。

・保護者のアンケートの回答率が第2回目（年度末）を比較すると、今年度は初めて9割（91.5%）を超え、4年連続で増加し、協力姿勢が明確になっています。

・保護者評価の「教育計画」「パンデミック対策」「カウンセリング体制」の3項目について、3項目の達成率が90%以上となりました。

III 課題と対策

・（全体を通して）生徒・保護者と教職員の評価に大きなギャップがあるのは毎年の傾向であり、本校の課題と言えます。研修において、全教職員が現状を把握し、それぞれの校務分担の到達目標達成に向けて、ワークショップを盛り込み、OJT(On the Job Training)とカリキュラム・マネジメントを通じた対応を試みます。

・（要精査項目）授業における「きめ細やかな指導」（生徒 64.9%、保護者 65.2%、教職員 93.0%）及び「質的向上」（生徒 80.6%、保護者 68.0%、教職員 97.6%）については、前年に比べ、生徒及び保護者の評価は若干改善されていますが、改革途中にあります。研究授業、定期考査・模試分析会、大学入学共通テスト勉強会等によって指導法を見直し、「授業満足度調査」とカリキュラム・マネジメントを通じて、改善する取り組みを進めていきます。

・（要精査項目）「進路指導」については、「意識の向上」「個別指導」は改善が見られるものの、「情報の活用」についての保護者評価（68.3%）に対し、進路講演会、リフレクシオンアワーにおける大学情報の提供等、本校独自の進路指導の取り組みの情報共有を強化します。

・（要精査項目）「探究活動」（生徒 68.3%、保護者 62.9%、教職員 97.7%）については探究教育推進委員を各学年に配置、「チーム学校」で全国大会レベルの目標を設定し、取り組みを強化していきます。

・（要精査項目）「SDGs と社会貢献」（生徒 72.5%、保護者 65.2%、教職員 95.5%）については、生徒と教職員の評価は改善していますが、変化が見られない保護者に対し、情

報提供を重ねていきます。

・(要精査項目) 生徒指導における「組織的対応」(生徒 64.0%、保護者 76.8%、教職員 95.5%) についてはコースと学年の連携を密にすることによってより初期指導を充実させます。

・(要精査項目) 私学の独自性における「建学の精神」については大幅な改善が見られたものの、「愛校心」(生徒 67.8%、保護者 84.7%、教職員 100%) については、生徒評価のみ課題が散見されます。創立 101 年目、グローバル化、一部のコースの共学化、校名変更を機に、学院のミッション及び建学の精神を様々な教育実践の中に落とし込んでいきます。

・(要精査項目) 「施設・設備」(生徒 69.0%、保護者 82.2%、教職員 84.1%) については、中長期修繕計画に基づく修繕・整備を実施しており、全体的に改善していますが、生徒への情報共有を深めていきます。

【参考資料①】

■ 中学（1年生～3年生）

中学の全体目標と学年目標		
大テーマ [全体]		
1 学期		「お蔭様で」という感謝の気持ちを忘れず、常に自分を律し、平凡なことをやり続ける姿勢を養う。
2 学期		興味・関心の対象を見つけ、「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を探究する姿勢を養うと同時に、自らの能力を最大限に伸ばす努力をする。
3 学期		リアルな社会的問題の解決に向けて、必要とされる学びを深めながら本質を捉え、既成概念に捉われない着眼点を伸ばし、個別最適学習（アダプティブ・ラーニング）の基盤をつくる。
[学年] 小テーマ		
中 1	1 学期	「あ・じ・み・そ」運動が習慣化する。 タイムマネジメントシートを有効活用して、学習習慣が身に付く。
	2 学期	「やればできる・できた」を経験し、何事にも自信を持って取り組む姿勢が身に付く。
	3 学期	年間の振り返りと次年度の PDCA
中 2	1 学期	「あ・じ・み・そ」運動が確立化する。 タイムマネジメントシートを有効活用して、学力向上を図る。
	2 学期	「やればできる・できた」の経験から、何事にも探究する態度・姿勢が身に付く。
	3 学期	年間の振り返りと次年度の PDCA
中 3	1 学期	最上級生としてリーダーシップを発揮する。 タイムマネジメントシートを有効活用して、自己調整学習を確立する。
	2 学期	「やればできる・できた」の経験から、自信を持って何事にも取り組む。
	3 学期	中学 3 ヶ年の振り返りと高 1 での PDCA
[グローバル選抜探究コース] 小テーマ		
中 1	1 学期	英語力を確実に高めるとともに、グローバル（身近な課題）に興味を持つ姿勢を養う。
	2 学期	グローバル（身近な課題）の関心を深め、地域の一員としての自覚を高める。
	3 学期	グローバル（国際的な課題）の関心を深め、多様性を受け入れる態度を養う。
中 2	1 学期	グローバル（身近な課題）の課題を見出す能力を養う。
	2 学期	グローバル（国際的な課題）の視点で、課題解決策を考えられる能力を養う。
	3 学期	世界の人と協働できる力を養い、国際人としての基礎を養う。
[未来探究コース] 小テーマ		
中 1	1 学期	学力の土台を固めるとともに、答えのない課題を考える姿勢を養う。
	2 学期	答えのない課題に向き合う能力を養う。
	3 学期	EdTech 教材を利用し、個別最適学習ができるようになる。
中 2	1 学期	5 教科の基礎・基本を徹底して学ぶ姿勢を養う。
	2 学期	日本文化や国際社会に関心を持つ姿勢を養う。
	3 学期	個別最適化学習が定着し、積み残しなく学力を伸ばす能力を養う。
中 3	1 学期	個別最適化学習により、5 教科の基礎基本が定着している。
	2 学期	SDGs（持続可能な開発目標）を意識し、答えのない課題に向き合う能力を養う。
	3 学期	課題を見出し、課題解決に導くグローバルリーダーシップを養う。

■高等学校（1年生～3年生）

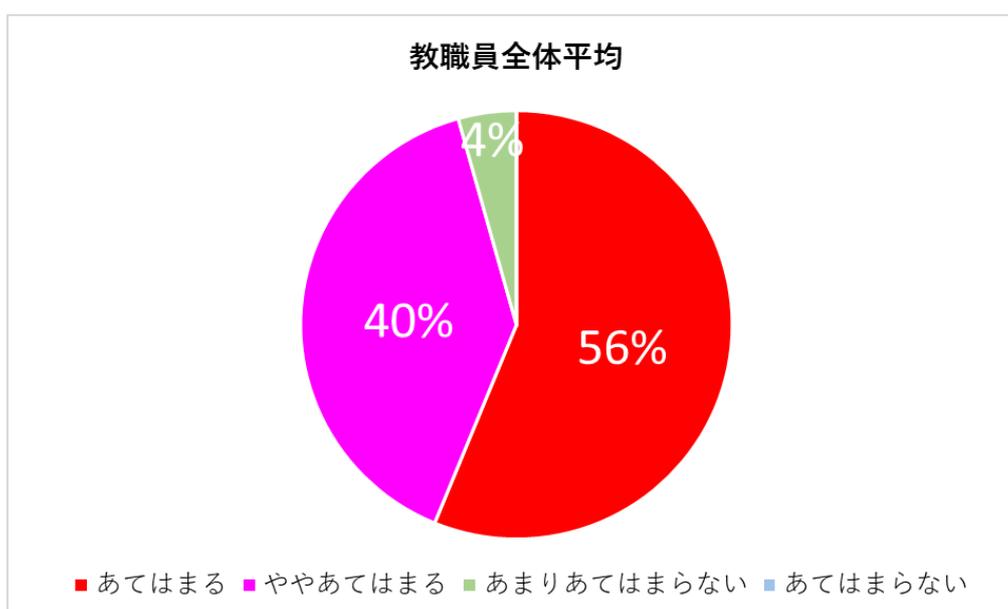
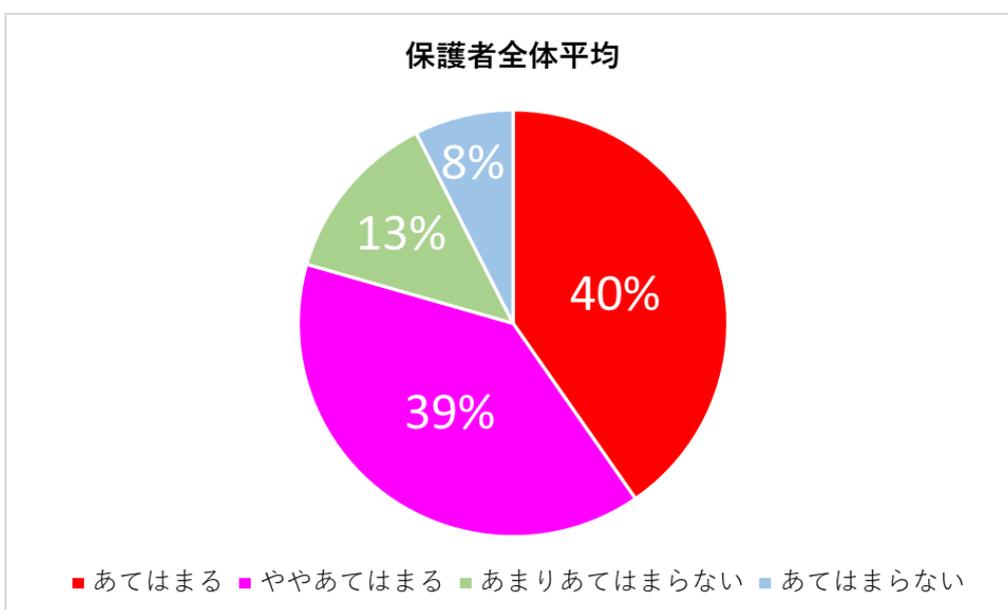
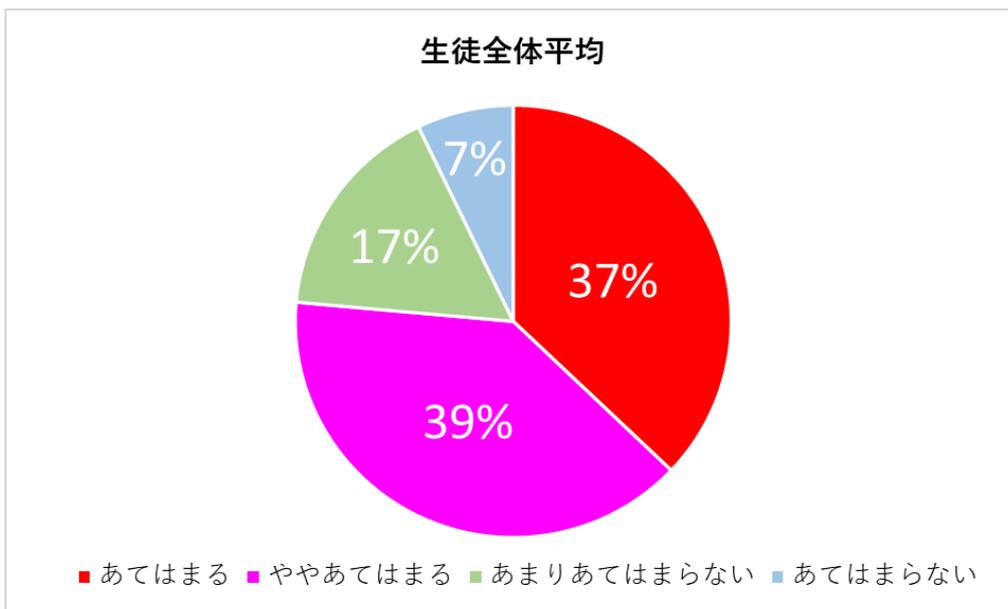
高校の全体目標と学年目標		
大テーマ [全体]		
1 学期	個別最適学習（アダプティブ・ラーニング）への習熟を通じて、得意分野を最大限に伸ばし、苦手分野を積み残さない取り組みを実践する。	
2 学期	“なりたい自分”になるための目標を明確にしつつ、学びのスタイルを確立し、思考力・判断力・表現力を伸ばす。同時に、物事の本質を見極め、正解は1つでないことに気づき、最適解を導くことによって豊かな人生を切り拓くたくましさを身につける。	
3 学期	自分の可能性を認識するとともに、他者を尊重し、協働しながら社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となると同時に、各自が夢の実現に向けて、高い志を持ち、教育ミッション、建学の精神を具現化する。	
[学年] 小テーマ		
高 1	1 学期	① タイムマネジメントシートを活用して、生活習慣や学習習慣を身に付ける。 ② EdTech 教材を活用して、各教科の学習方法を身に付ける。 ③ 新しい環境の中で、互いを尊重し学び合う姿勢を身に付ける。
	2 学期	① リフレクションアワーを活用して学習計画や学習方法を見つめ直す。 ② 探究活動を通じて自分の目標を見つけ、他者と協働しながら問題解決の方法を考える。
	3 学期	① 目標の実現のため、PDCA サイクルを見直して日々の学習計画の中で実行する。 ② 他者を尊重し、社会の一員として責任ある行動が取れるようにする。
[学年] 小テーマ		
高 2	1 学期	① タイムマネジメントシートの活用の仕方を見直し、継続的な学習習慣を確立する。 ② 初心に戻り、「あ・じ・み・そ」を意識した生活習慣を見直し、改善する。 ③ 集団の中で責任ある行動を心がけ、積極的に行事や諸活動に参加する姿勢を持つ。
	2 学期	① リフレクションシートを活用して新たな課題を発見・改善し、進路実現に向かう。 ② 他者を尊重すると共に、自分の特技を活かし協働しながら問題解決をする姿勢を持つ。
	3 学期	① 自らの進路実現のために、PDCAサイクルを確立する。 ② 最高学年に向けての自覚をもち、来年度の目標を見定める。
[学年] 小テーマ		
高 3	1 学期	① タイムマネジメントシートを活用しながら、自己実現に向けて基礎基本を定着させる。 ② 将来像を意識しながら幅広い分野に興味関心を持ち、探究していく。 ③ 社会に貢献できる人材となるため、他者との協働を意識して行動する。
	2 学期	① 第一希望を叶えるために、自分自身と向き合い前進する力を身につける。 ② 集団生活の中で責任ある行動を意識し、最高学年として模範となる行動を心がける。
	3 学期	① 進路満足度が 100%になるように、最後までやりきる力と挑戦する精神を鍛える。 ② 次のステージを見据えて、学習習慣・生活習慣の質を上げる。
[グローバル選抜探究コース] 小テーマ		
高 1	1 学期	5 教科の基礎基本の定着と特に英語力の向上を意識した自己調整学習ができる能力を養う。
	2 学期	世界の人々と協働し、国際人としての自覚を高める。
	3 学期	国際人として、グローバル（国際的な課題）の課題解決ができる能力を養う。
高 2	1 学期	進路に向けての自己調整学習が確立している。

	2学期	グローバル（国際的な課題）の課題に対して、最適解を導ける能力を養う。
	3学期	国際人として、未来型グローバルリーダーシップが発揮できる姿勢を養う。
[選抜コース] 小テーマ		
高1	1学期	5教科の基礎基本の定着と個別最適化学習を実践できる能力を養う。
	2学期	グローバル（国際的な課題）に視点を向け、世界の人々と協働する姿勢を養う。
	3学期	グローバル（国際的な課題）の課題を導き出す能力を養う。
高2	1学期	進路に向けての自己調整学習が確立している。
	2学期	グローバル（国際的な課題）の課題に対して、解決策を考える能力を養う。
	3学期	未来型グローバルリーダーシップが発揮できる姿勢を養う。
高3	1学期	自己調整学習が確立し、目標達成に向けて積み残しなく学力向上している。
	2学期	グローバル（国際的な課題）の課題に対して、最適解を導ける能力を養う。
	3学期	進路満足度100%が達成できている。
[未来探究コース] 小テーマ		
高1	1学期	学力の基礎を徹底して身に付け、確実な学力を身に付ける姿勢を養う。
	2学期	答えのない課題に向き合い、最適解を見出せる能力を養う。
	3学期	個別最適化学習に意欲的に取り組む姿勢を養う。
高2	1学期	学力の基礎だけでなく、応用・発展へと段階的に学力を進めていく能力を養う。
	2学期	答えのない課題を見出し、最適解を導ける能力を養う。
	3学期	多くの人との協働を通して、よりよい解決策を考えられる能力を養う。
高3	1学期	進路に向けての個別最適化学習が確実に実践できる能力を養う。
	2学期	個別最適化学習を通して、自己調整学習が確実に実践できる能力を養う。
	3学期	進路満足度100%が達成できている。

【参考資料②】 2024年度 学校評価アンケート質問内容

観点	項目	教職員への設問	生徒への設問	保護者への設問
私学の独自性	建学の精神	1 建学の精神と教育ミッションに基づいた教育目標と方針が、教職員・生徒・保護者によく浸透している。	建学の精神「自学自習・情操陶冶」、教育ミッション「Communication(対話・伝達)・Consideration(熟慮・考察・思いやり)・Commitment(参画・貢献)」を理解している。	建学の精神「自学自習・情操陶冶」、教育ミッション「Communication(対話・伝達)・Consideration(熟慮・考察・思いやり)・Commitment(参画・貢献)」に基づいた教育活動が行われている。
	愛校心	2 在校生・卒業生は「山手ファミリー」の一員として誇りと自覚を持っている。	神戸山手の生徒としての誇りと自覚を持ち、より良い学校づくりに貢献しようと思う。	子どもは神戸山手の一員としての誇りと自覚を持ち、保護者としてもより良い学校づくりに協力しようと思う。
教育課程	学習指導要領	3 教育課程は学習指導要領に沿って作成されている。		
	教育計画	4 年間を通じた教育計画(シラバス)に従って、各教科・科目の授業が展開されている。	シラバスに従って、各教科・科目の授業が展開されている。	年間を通じた教育計画(シラバス)に従って、各教科・科目の授業が展開されている。
開かれた学校	教育活動の公開	5 教育活動について、ホームページ・各種通信・BLEND・ロイノート・ミマモメ等で、可能な範囲の情報公開されている。	ホームページ、学年だより・保健だよりなどの通信、BLEND等で、必要な情報が提供されている。	ホームページ、学年だより・保健だよりなどの通信、BLEND、ミマモメ等で、必要な情報が提供されている。
	財務関係	6 財務諸表等が公開されている。		
	授業公開	7 保護者などに対して、授業や行事が公開されている。		保護者に対して、授業や行事が公開されている。
	地域交流	8 地域の清掃やイベントへの参加活動を通して、地域住民との交流ができています。		
	外部講師の活用	9 外部講師による講演や企業との連携授業など、生徒が一般社会で活躍する人に触れて刺激を得る機会が作られている。	学校で、一般社会で活躍する人の講演を聞いたり、直接指導を受けたりする機会がある。	外部講師による講演や企業との連携授業など、生徒が一般社会で活躍する人に触れて刺激を得る機会が作られている。
	教員間連携	10 教員間の相互理解と信頼関係のもとに、教育活動が展開されている。		
連携	職員会議	11 職員会議をはじめ、学年・分掌・教科の会議は、課題検討と有用な情報交換の場として機能している。		
	教職員連携	12 教員と事務職員の相互理解と信頼関係のもとで、教育活動が展開されている。		
	保護者・卒業生連携	13 育友会・同窓会の活動が盛んで、本校の教育方針に対する保護者や卒業生の理解と協力が進んでいる。		育友会・同窓会活動が盛んで、本校の教育方針に対する保護者・卒業生の理解と協力が進んでいる。
教員研修	校内研修	14 校内研修会や効果的なOJT(On-the-Job Training)が実施され、教職員の資質向上につながっている。		
	資質向上	15 研究授業、相互授業参観、模試・考査分析会、外部研修会への参加等によって、教員の資質向上が図られている。		
危機管理	役割分担	16 事故・災害等、非常事態に処する際の役割分担が明確にされている。		
	講習・訓練	17 健康・安全についての講習、防災訓練等を通じて、生徒・教職員・保護者の防災・安全意識が高められている。	健康・安全についての講習、防災訓練、保健だより等を通じて、防災・安全意識が高まった。	健康・安全についての講習、防災訓練、保健だより等を通じて、防災・安全意識を喚起している。
	パンデミック対策	18 日常の感染予防対策を徹底しながら教育活動が行われ、必要に応じて遠隔による授業・行事が実施されている。	日常の感染防止対策を徹底しながら教育活動を実施し、必要に応じて遠隔での授業も取り入れている。	日常の感染防止対策を徹底しながら教育活動を実施し、必要に応じて遠隔での授業も取り入れている。
	個人情報	19 個人情報の管理について、十分な配慮がなされている。	個人情報の管理について、十分な配慮がなされている。	個人情報の管理について、十分な配慮がなされている。
設備施設	施設管理	20 施設管理について、日常的に点検・補修が行われ、常に適正に管理されている。	日常的に施設・設備の点検・補修が行われている。	日常的に施設・設備の点検・補修が行われている。
生徒指導	学校生活	21 生徒は学校生活を楽んでいる。	自分は学校生活を楽んでいる。	子どもは学校生活を楽んでいる。
	基本的な生活習慣	22 時間厳守・身だしなみ・挨拶・校則の遵守・整理整頓・清掃など、生徒の基本的な生活習慣の確立のための指導が行われている。	時間厳守、身だしなみ、挨拶、校則の遵守、整理整頓・清掃など、基本的な生活習慣が身についた。	子どもは、時間厳守・身だしなみ・挨拶・校則の遵守・整理整頓・清掃など、基本的な生活習慣が身につけている。(身につけてきた。)
	面談	23 面談を通して個々の生徒に寄り添い、生徒と教員の信頼関係のもとに課題が共有され、問題があれば迅速に報告されている。	担任の先生との面談の機会がたくさんあり、自分のことをよく理解して的確なアドバイスをしてくれる。	担任は、個別面談などを通して子どものことをよく理解し、適切なアドバイスをしてくれる。
	組織的対応	24 問題行動の防止に向け早期指導を行うとともに、生徒指導に組織的に対応する体制がある。	先生の指導が公平で適切であり、学校として統一されていると感じる。	指導が適切なタイミングとスピードで行われ、また学校として組織的になされていると感じる。
進路指導	意識の向上	25 生徒の適性に応じて個々の興味・関心を引き出し、個性と学年に応じた進路指導・キャリア教育が実施されている。	生徒の適性や目標に応じた進路指導をしてくれている。	生徒の適性に応じて個々の興味・関心を引き出し、個性や学年に応じた進路指導・キャリア教育が実施されている。
	情報の活用	26 生徒・保護者への説明会、外部講師による講演、大学との交流など、さまざまな進路行事を通して情報提供が行われている。	進路に関する行事をはじめ、ホームルームや学年集会、配付物や掲示物などを通して、適切な進路選択のための情報を十分に得ることができる。	進路に関する行事のほか、さまざまな方法で適切な進路選択のための情報を十分に得ることができる。
	個別指導	27 生徒の学習到達度を正確に把握し、模試・考査などの客観分析とPDCAを行わせる進路指導が実施されている。	担任の先生や教科担当の先生は、自分の学習到達度を正確に把握し、的確なアドバイスをしてくれている。	担任や教科担当者は、生徒の学習到達度を正確に把握し、的確なアドバイスをしてくれている。
授業	質的向上	28 教員は、各教科のコース別到達目標に即して、わかりやすい授業の工夫と改善を心がけている。	各教科の先生は、わかりやすい授業の工夫と改善を心がけていると思う。	子どもは、授業がよくわかり、意欲的に取り組んでいるようだ。
	きめ細やかな指導	29 生徒は学習への取り組みや到達度を振り返り、適切なアドバイスを得ている。また宿題・提出物等に対して、適切なフィードバックを得ている。	リフレクションシートで学習法や到達度について自ら振り返ることで、自律的に学習に取り組めるようになった。	子どもは、自分の学習法や到達度について自ら振り返り、自律的に学習している。(するようになった。)
	個別最適化	30 各自の目標や到達度に応じて自主的に適切な課題を選んで取り組むという、個別最適化学習の体制が整っている。	授業時間以外に、放課後・昼休み・早朝などに、いろいろな補習・講習・自由参加の学習活動が用意されている。	生徒が各自の目標や到達度に応じて、自主的に適切な課題を選んで取り組む、個別最適化学習の体制が整っている。
	探究活動	31 探究活動が生徒の興味関心・喚起し、【主体的・対話的で深い学び】が成立している。	探究活動はやりがいがあり、自分から社会の課題を解決しようとする姿勢を持つようになった。	子どもは探究活動に意欲的に取り組み、積極的に社会の課題を解決しようとする姿勢を持つようになった。
グローバル教育	グローバル教育	32 グローバル化の時代に対応した本校ならではの教育活動が実施されている。	山手では、グローバル化の時代に対応した授業やその他の教育活動が行われていると感じる。	グローバル化の時代に対応した授業やその他の教育活動が行われていると感じる。
	人権教育	33 生徒一人一人の人格が尊重されるとともに、平和を希求し人権侵害や差別に立ち向かう態度を育むような教育が行われている。	生徒の人格が尊重されていると思う。また、平和の大切さ、人権侵害や差別の問題について学ぶ機会がある。	生徒の人格が尊重されている。また、平和の大切さ、人権侵害や差別の問題について学ぶ機会がある。
	SDGsと社会貢献	34 SDGsを念頭におき、社会貢献や環境保全活動とともに、日々のごみ分別・資源回収などが実践されている。	SDGsについて理解し、社会の問題について考えるようになった。また、進んで社会貢献や環境保護活動に参加したり、日常のごみ分別なども取り組んでいる。	子どもは、SDGsを意識するようになり、社会の問題について関心を持ったり、社会貢献や環境保護活動に参加したり、日々のごみ分別などを実践している。
情報教育	情報モラル	35 情報の発信に伴う責任など、情報モラル面での教育が十分に行われている。	情報の発信に伴う責任や情報モラルについて、十分に学ぶ機会がある。	情報の発信に伴う責任など、情報モラル面での教育に十分に取り組んでいる。
その他	カウンセリング体制	36 不登校の生徒や心的問題を抱える生徒(保護者)に、カウンセラーの支援体制がある。	不登校の生徒や心的問題を抱える生徒、あるいはその保護者に対して、カウンセラーの支援体制がある。	不登校の生徒や心的問題を抱える生徒、あるいはその保護者に対して、カウンセラーの支援体制がある。
	クラブ活動	37 クラブ活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるような体制が整えられている。	クラブ活動や課外講座に参加している。	クラブ活動に生徒が参加しやすく、活動しやすい体制が整っている。
	生徒会活動	38 生徒会活動が生徒主体で活発に行われ、社会に積極的に参画する意欲が育まれている。	生徒会活動が生徒主体で活発に行われていると思う。	
	読書教育	39 図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ピリオバルなど、読書を促すための行事やしぐみがある。	図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ピリオバルなど、読書を促すための行事やしぐみがある。	図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ピリオバルなど、読書を促すための行事やしぐみがある。
	学校行事	40 それぞれの学校行事が年間指導計画の中に位置づけられ、生徒が積極的に参加できるように工夫されている。	自分は学校行事に積極的に取り組み、楽しんで活動している。	子どもは、学校行事に積極的に取り組み、楽しんで活動している。
進路指導(高3第2回)	41	卒業後の進路に満足している。	子どもは、卒業後の進路に満足している。	

【参考資料③】 2024年度 学校評価アンケート結果（全体平均）



【参考資料④】 2024年度 第2回学校評価アンケート結果（各項目）

観点	項目	設問	対象	回答数					無回答除く A+B
				A	B	C	D	E無回答	
私学の独自性	建学の精神	1 建学の精神と教育ミッションに基づいた、教育目標と方針が、教職員・生徒・保護者によく浸透している。	生徒	100	122	55	9	18	77.6%
			保護者	74	110	51	18	28	72.7%
			教職員	18	25	1	0	0	97.7%
	愛校心	2 在校生・卒業生は「山手ファミリー」の一員として誇りと自覚を持っている。	生徒	87	121	62	37	23	67.8%
			保護者	108	119	24	17	13	84.7%
			教職員	24	20	0	0	0	100.0%
教育課程	学習指導要領	3 教育課程は学習指導要領に沿って作成されている。	生徒	—	—	—	—	—	
			保護者	—	—	—	—	—	
			教職員	33	9	1	0	1	97.7%
	教育計画	4 年間を通じた教育計画（シラバス）に従って、各教科・科目の授業が展開されている。	生徒	81	130	38	5	50	83.1%
保護者			149	91	15	9	17	90.9%	
教職員			35	7	1	0	1	97.7%	
開かれた学校	教育活動の公開	5 教育活動について、ホームページ・各種通信・BLEND・ロイロノート・ミマモルメ等で、可能な範囲の情報が公開されている。	生徒	124	112	36	15	17	82.2%
			保護者	154	86	15	13	13	89.6%
			教職員	38	6	0	0	0	100.0%
	財務関係	6 財務諸表等が公開されている。	生徒	—	—	—	—	—	
			保護者	—	—	—	—	—	
			教職員	23	13	2	0	6	94.7%
	授業公開	7 保護者などに対して、授業や行事が公開されている。	生徒	—	—	—	—	—	
			保護者	130	85	39	14	13	80.2%
			教職員	32	12	0	0	0	100.0%
	地域交流	8 地域の清掃やイベントへの参加活動を通して、地域住民との交流ができています。	生徒	—	—	—	—	—	
保護者			—	—	—	—	—		
教職員			15	21	8	0	0	81.8%	
外部講師の活用	9 外部講師による講演や企業との連携授業など、生徒が一般社会で活躍する人に触れて刺激を得る機会が作られている。	生徒	94	119	47	16	28	77.2%	
		保護者	85	116	38	11	31	80.4%	
		教職員	23	18	3	0	0	93.2%	
学校経営	教員間連携	10 教員間の相互理解と信頼関係のもとに、教育活動が展開されている。	生徒	—	—	—	—	—	
			保護者	—	—	—	—	—	
			教職員	20	21	3	0	0	93.2%
	連携	11 職員会議をはじめ、学年・分掌・教科の会議は、課題検討と有用な情報交換の場として機能している。	生徒	—	—	—	—	—	
			保護者	—	—	—	—	—	
			教職員	26	16	2	0	0	95.5%
	教職員連携	12 教員と事務職員の相互理解と信頼関係のもとで、教育活動が展開されている。	生徒	—	—	—	—	—	
保護者			—	—	—	—	—		
教職員	19	24	1	0	0	97.7%			
保護者・卒業生連携	13 育友会・同窓会の活動が盛んで、本校の教育方針に対する保護者や卒業生の理解と協力が進んでいる。	生徒	0	0	0	0	0		
		保護者	108	93	30	13	37	82.4%	
		教職員	30	14	0	0	0	100.0%	
教員研修	校内研修	14 校内研修会や効果的なOJT（On-the-Job Training）が実施され、教職員の資質向上につながっている。	生徒	—	—	—	—	—	
			保護者	—	—	—	—	—	
			教職員	21	21	2	0	0	95.5%
	資質向上	15 研究授業、相互授業参観、模試・考査分析会、外部研修会への参加等によって、教員の資質向上が図られている。	生徒	—	—	—	—	—	
保護者			—	—	—	—	—		
教職員	25	17	2	0	0	95.5%			
危機管理	役割分担	16 事故・災害等、非常事態に対処する際の役割分担が明確にされている。	生徒	—	—	—	—	0	
			保護者	—	—	—	—	—	
			教職員	25	17	2	0	0	95.5%
	講習・訓練	17 健康・安全についての講習、防災訓練等を通じて、生徒・教職員・保護者の防災・安全意識が高められている。	生徒	111	103	62	9	19	75.1%
			保護者	112	122	16	12	19	89.3%
			教職員	31	12	1	0	0	97.7%
	パンデミック対策	18 日常の感染予防対策を徹底しながら教育活動が行われ、必要に応じて遠隔による授業・行事が実施されている。	生徒	123	106	40	14	21	80.9%
			保護者	142	92	16	8	23	90.7%
教職員	29	14	1	0	0	97.7%			
個人情報	19 個人情報の管理について、十分な配慮がなされている。	生徒	111	92	47	13	41	77.2%	
		保護者	131	90	12	14	34	89.5%	
		教職員	23	20	1	0	0	97.7%	
設備施設	施設管理	20 施設管理について、日常的に点検・補修が行われ、常に適正に管理されている。	生徒	99	88	58	26	33	69.0%
			保護者	81	94	24	14	68	82.2%
			教職員	15	22	7	0	0	84.1%

教育活動	生徒指導	学校生活	21	生徒は学校生活を楽しんでいる。	生徒	125	100	40	18	21	79.5%
					保護者	117	92	33	24	15	78.6%
					教職員	21	22	1	0	0	97.7%
		基本的生 活習慣	22	時間厳守・身だしなみ・挨拶・校則の遵守・ 整理整頓・清掃など、生徒の基本的生 活習慣の確立のための指導が行われている。	生徒	114	125	35	12	18	83.6%
					保護者	84	114	47	19	17	75.0%
					教職員	13	27	4	0	0	90.9%
		面談	23	面談を通して個々の生徒に寄り添い、生徒と 教員の信頼関係のもとに課題が共有され、問 題があれば迅速に報告されている。	生徒	95	113	49	21	26	74.8%
					保護者	130	89	26	23	13	81.7%
					教職員	23	19	2	0	0	95.5%
		組織的対 応	24	問題行動の防止に向け早期指導を行うととも に、生徒指導に組織的に対応する体制がある。	生徒	78	103	67	35	21	64.0%
					保護者	101	94	30	29	27	76.8%
					教職員	21	21	2	0	0	95.5%
	進路指導	意識の向 上	25	生徒の適性に応じて個々の興味・関心を引き 出し、個性と学年に応じた進路指導・キャリア 教育が実施されている。	生徒	108	110	45	15	26	78.4%
					保護者	91	102	36	20	32	77.5%
					教職員	23	18	1	0	2	97.6%
		情報の活 用	26	生徒・保護者への説明会、外部講師による講 演、大学との交流など、さまざまな進路行事 を通して情報提供が行われている。	生徒	93	119	54	10	28	76.8%
					保護者	81	83	53	23	41	68.3%
					教職員	26	17	1	0	0	97.7%
	個別指導	27	生徒の学習到達度を正確に把握し、模試・考 査などの客観分析とPDCAを行わせる進路指導 が行われている。	生徒	92	123	41	19	29	78.2%	
				保護者	107	93	28	25	28	79.1%	
				教職員	22	20	1	0	1	97.7%	
	授業	質的向上	28	教員は、各教科のコース別到達目標に即し て、わかりやすい授業の工夫と改善を心がけ ている。	生徒	95	125	40	13	31	80.6%
					保護者	61	115	50	33	22	68.0%
					教職員	28	13	1	0	2	97.6%
きめ細や かな指導		29	生徒は学習への取り組みや到達度を振り返 り、適切なアドバイスを得ている。また宿 題・提出物等の管理も行き届いている。	生徒	82	101	65	34	22	64.9%	
				保護者	65	109	61	32	14	65.2%	
			教職員	23	17	3	0	1	93.0%		
個別最適 化	30	各自の目標や到達度に応じて自主的に適切な 課題を選んで取り組むという、個別最適化学 習の体制が整っている。	生徒	110	117	34	19	24	81.1%		
			保護者	81	104	42	23	31	74.0%		
			教職員	25	16	2	0	1	95.3%		
探究活動	31	探究活動が生徒の興味関心を喚起し、主体的 対話的な深い学びが成立している。	生徒	83	109	57	32	23	68.3%		
			保護者	64	94	64	29	30	62.9%		
			教職員	20	22	1	0	1	97.7%		
グローバル教育	32	グローバル化の時代に対応した本校ならではの 教育活動が実施されている。	生徒	98	107	45	26	28	74.3%		
			保護者	96	101	29	20	35	80.1%		
			教職員	32	12	0	0	0	100.0%		
人権教育	33	生徒の人格が尊重され、平和を希求し人権侵 害や差別に立ち向かう態度を育む実践が行わ れている。	生徒	91	109	52	26	26	71.9%		
			保護者	80	101	32	19	49	78.0%		
			教職員	23	18	2	0	1	95.3%		
SDGsと社会貢 献	34	SDGsを念頭におき、社会貢献や環境保全活動 とともに、日々のごみ分別・資源回収などが 実践されている。	生徒	82	121	53	24	24	72.5%		
			保護者	63	104	64	25	25	65.2%		
			教職員	27	15	2	0	0	95.5%		
情報教育	情報モラ	35	情報の発信に伴う責任など、情報モラル面での 教育が十分に行われている。	生徒	90	122	42	23	27	76.5%	
				保護者	74	108	36	12	51	79.1%	
				教職員	19	24	1	0	0	97.7%	
その他	カウンセ リング体 制	36	不登校の生徒や心的問題を抱える生徒に、カ ウンセラーの支援体制がある。	生徒	131	102	26	10	35	86.6%	
				保護者	122	93	11	13	42	90.0%	
				教職員	35	9	0	0	0	100.0%	
	クラブ活 動	37	クラブ活動の役割を重視し、より多くの生徒 が参加できるような体制が整えられている。	生徒	153	61	36	37	17	74.6%	
				保護者	126	81	25	21	28	81.8%	
				教職員	30	12	2	0	0	95.5%	
	生徒会活 動	38	生徒会活動が生徒主体で活発に行われ、社会 に積極的に参画する意欲が育まれている。	生徒	84	95	44	31	50	70.5%	
				保護者	—	—	—	—	—	—	
				教職員	20	20	4	0	0	90.9%	
	読書教育	39	図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ピ リオバトルなど、読書を促すための行事や しくみがある。	生徒	100	117	39	15	33	80.1%	
			保護者	100	112	17	12	40	88.0%		
			教職員	25	18	1	0	0	97.7%		
学校行事	40	それぞれの学校行事が年間指導計画の中に位 置づけられ、生徒が積極的に参加できるように 工夫されている。	生徒	129	107	30	19	19	82.8%		
			保護者	121	90	36	22	12	78.4%		
			教職員	25	16	3	0	0	93.2%		
進路指導	41	卒業後の進路に満足している。 (高3・2回目の質問項目)	生徒	54	25	2	2	7	95.2%		
			保護者	51	17	2	3	12	93.2%		
			教職員	—	—	—	—	—	—		